

2020年11月12日

各位

上場会社名	東邦亜鉛株式会社	
代表者	代表取締役社長	丸崎公康
(コード番号	5707)	
問合せ先責任者	執行役員資源事業部長	中川英樹
(TEL	03-6212-1704)	

(開示事項の経過) 豪州西オーストラリア州 Abra 鉛鋳山事業に関わる融資組成と当社出資

去る2019年4月12日付にて、当社は、100%子会社の豪州鋳山会社 CBH Resources Limited (以下CBH社)を通じ、豪州西オーストラリア州のAbra鉛鋳山開発事業への参画に付き、同権益を100%保有する豪州Galena Mining Limited (以下Galena社)と正式契約を締結し、開発事業体である豪州Abra Mining Pty Limited (以下AMPL社)の第三者割当増資90百万豪ドルを引受ける事により、AMPL社株式の40%を保有する計画である事をお知らせ致しました。

又、2019年8月2日付にて、当社は、第三者割当増資30百万豪ドルの引受けを実行し、その後Galena社と協働して、2019年後半を目途に、開発に必要な金融機関融資の組成を行ない、2021年のAbra鉛鋳山の生産開始を目指す予定である事をお知らせ致しました。

その後、世界的な感染症拡大とそれによる経済活動の混乱の影響を受け、金融機関との協議は時間を要していましたが、今般、本案件の開発に必要な融資資金として、豪州Taurus Funds Management社の在米ファンドであるTaurus Mining Finance Fund No. 2を貸主、AMPL社を借主とする総額110百万米ドルの融資契約を締結した事をお知らせ致します。

これに伴い、当社は、2020年11月中旬迄に、CBH社を通じ、融資契約締結時点で行なうとしていたAMPL社の第三者割当増資60百万豪ドルの一部金額、及び融資契約の条件である親会社による追加出資の当社負担分7.2百万豪ドルの引受けを行なう予定です。最終的には、現在、AMPL社が行なっている追加補間試錐プログラムにより資源量の確度を引き上げ、融資契約の条件であるAMPL社の財務指標基準の達成を確認した時点で、当社による第三者割当増資60百万豪ドルの引受けは全額完了し、AMPL社株式の40%を保有する事を予定しています。

この段階で、Abra鉛鋳山の開発に必要な全ての資金調達完了し、AMPL社は建設開発工事を本格化させ、2022年のAbra鉛鋳山の生産開始を目指す事と致します。

以上